

令和5年度
「すまい職人きらりアップ体験出前授業」
実施報告書

青森県住宅リフォーム推進協議会
青森県県土整備部建築住宅課

1. 出前授業の目的

青森県住宅リフォーム推進協議会※1と青森県は、「青森県すまい職人きらりアップ計画」に基づき、子ども達が、住宅（すまい）ができるまでの過程を知ることや、すまいづくりに携わる職人とのふれあいをとおして、職人という仕事に理解を深め、興味や関心を高めることにより、すまい職人を目指すきっかけづくりを行うことを目的とする。

※1. 住宅リフォームの関連団体等が、一体となって住宅リフォームの推進に向けた事業を展開し、県民が安心してリフォームできる環境を整備するとともに住宅リフォーム関連業界への健全な発展を図ることを目的として組織。
<会長>飯田善之県建築士会会長 <事務局>青森県建築士会

2. 出前授業の実施概要

1) 実施期間

令和5年7月から10月まで

2) 実施校等

県内の小・中学校（8校）

3) 対象学年

小学校5学年～中学校3学年

4) 講師

県立弘前高等技術専門校、県立むつ高等技術専門校、青森県県土整備部建築住宅課

5) 基本プログラム

<1時間目>

- ①すまいについての講話
- ②すまいができる過程とすまい職人の紹介（DVD※2視聴）
- ③大工道具の使い方、木材の説明

<2時間目>

- ④講師による木材加工組立の実演
- ⑤児童生徒による木材加工組立の体験、ベンチ制作
- ⑥まとめ

※2. DVD「未来を造るすまい職人たち」

平成21年度の「すまい職人きらりアップ体験モデル事業」（弘前市立第三中学校敷地に建築した休憩所（木造約3坪）について、弘前工業高校の生徒が設計、弘前高等技術専門校の学生が施工を体験したもの）の記録の中から、建物がどのようにできるのか、また建物をつくるためにどのような職人がかかわっているのかを取りまとめた教材。

<対象>小学校高学年、中学校<時間>15分

弘前市立 常盤野小学校

実施日：令和5年7月5日（水）

講師：弘前高等技術専門校
県土整備部建築住宅課

学年：5～6学年

時間：3～4校時

参加者：8名

教科：総合学習



大工は1つだと思ってたけど色々な仕事があることが分かって良かったし、体験のほうもドリルでねじをはめるのがおもしろかったです。（5学年）



楽しかったことは、鉋で木をそることです。勉強になったことは、大工だけじゃなく、土工・鉄筋工・左官・塗装・建具工・電工などのいろんな工があるのが分かりました。難しかったことは、電動ドリルでねじを入れることが難しかったです。（6学年）

木材加工組立の実演から職人の方々への敬意を持つことができました。また鉋やベンチ作りの体験から技術のすばらしさや難しさを実感できました。（担当教諭）



楽しかった点は、鉋で木を削ることです。壁の奥にふわふわな断熱材や地震でつぶれないようにする柱があることが参考になりました。（5学年）



八戸市立 明治中学校

実施日：令和5年7月18日（火）

講師：むつ高等技術専門校
県土整備部建築住宅課

学年：1学年

時間：5～6校時

参加者：19名

教科：技術



大工は大変なんだと思っていたけど、職人の中の1つの仕事だと分かりました。自分は職人などの仕事に興味がありませんでしたが少し興味をもてたと思います。



動画を見てすべての仕事を「大工」がやると思っていたけど、色々な職人が関わっていると知ってチームワークが大事だと思いました

DVDで1つの家を作るのに、色々な職人が関わることが分かりました。その中で塗装工はとても繊細で凄いなと思いました。鉋掛けはとても難しく講師の方はすごくすごいと思いました。



大工道具の歴史やその使い方について詳しく説明していただき大変勉強になりました。講師の優しく丁寧な説明で生徒たちは集中して120分を過ごしていました。（担当教諭）



つがる市立 稲垣中学校

実施日：令和5年8月29日（火）

講師：弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：1学年

時間：5～6校時

参加者：17名

教科：総合学習、技術家庭



私は最初のDVDで塗装工の人が色などを工夫して、塗ったりしていて塗装工の人の仕事にすごく憧れました。
現場監督もすごくかっこいいと思いました。技術はないけど全部の仕事を覚えられていて、私は一番心に残りました。



正にタイムリーな授業となりました。ものづくりで木工を学習し始めたところなので、良い動機づけとなりました。
大工のみならず、様々な職人の役割を学べてよかったですと思います。生徒たちは楽しく学べて満足した様子です。（担当教諭）

鉋掛けがすごく楽しかったです。あとDVDや話を聞いてすごくこだわって丁寧に作っているんだなと感じました。



家を建てる場で大工の人だけで建てていたと思ったけど、今日のDVDで色んな人がいろんな工夫をして、たくさん手間をかけて建てていることが分かりました。「とても頑固で満足いくまでやる」ということばがすごいなあと頭の中にずっと残っています。



八戸市立 鮫中学校

実施日：令和5年9月8日（金）

講師：むつ高等技術専門校

弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：2学年

時間：3～4校時

参加者：44名

教科：技術



大工さんが来て目の前で作業風景を見ることができて良い経験ができました。特に「すみつぼ」という道具では、動物がいたり名前の由来について詳しく知ることができました。なかなか体験なので貴重な時間になってよかったです。女の大工さんは、とてもかっこよかったです。



家づくりの工夫で地震に耐えるようにしたり、室内の温度を保つための工夫があってとても勉強になりました。最後の鉋掛けや、釘打ちはみんなと協力できたし、とても楽しかったです。貴重な体験になりました。色々な道具があったり使う物が多いし、力仕事でこれをやってるのはすごいなと思いました。

一戸の家が建つまでにたくさんの職人がいて出来上がったのを知ることができたようで、すまい職人に関しても木材加工に関しても今まで以上に興味関心を持つことができ、とても効果がありました。（担当教諭）



この授業で一番勉強になったことは、家を作ることの難しさです。前まで簡単につくれると思っていたわけではないですが、様々な職種や道具を見て、より家だけでなく物を作るということの大変さが伝わりました。最近はDIYなど、身近なところから物づくりが始められるので、僕も挑戦してみようかなと思います。



八戸市立 豊崎中学校

実施日：令和5年9月12日（火）

講師：むつ高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：1～2学年

時間：5～6校時

参加者：15名

教科：技術



1つの建物に多くの人々が係わってできているのだと知りました。木同士を組む時の形がすごい複雑で、それで頑丈になるのかなと感じました。鉋掛けをした後の木がコーティングされたみたいにすべすべになっていて驚きました。職人はすごいなと感じました。（2学年）



多くの人に関わって1つの住宅が出来ていると知って色々な手間や時間がかかっているんだなと思いました。そして木がよく家に使われている理由が重さにたえられてゆれにたえられるということが知れてよかったです。鉋掛けをしたときに紙やすりをかけたときよりすべすべになって驚きました。（1学年）

生徒たちが住まいや建築について興味を持ち、安全・安心・健康に留意した住宅のあり方について学ぶことができました。（担当教諭）



昔の道具の模様に込められた意味が知れてよかったです。職人さんがやるとすごく簡単そうに見えるけど、いざやってみると難しかったです。釘とか使わずに、丈夫に木をくっつけるなど工夫してやっていることも分かりました。使う目的に合った木を選んで使っていることも分かりました。（1学年）



八戸市立 是川中学校

実施日：令和5年10月5日（木）

講師：むつ高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：2学年

時間：5～6校時

参加者：16名

教科：総合的な学習



職人にはたくさんの細かい道具があって、覚えるだけで大変そうなのに、それを使いこなしている職人の大工さんにとっても憧れをいただきました。鉋掛けもうまくできてとても嬉しかったです。



普段なかなか体験できないことを体験することができ、すまい職人の技術のすばらしさに気づくことができたので、大いに成果がありました。また家を建てる時に多種多様な職人さんが関わっていることを知ることで、将来の職業選択の幅が広がったと思います。

（担当教諭）

職人という仕事についてあまり知りませんでした。今回の授業で大工の仕事がどんなことなのかや、道具のことなどすごいことをたくさん知れました。また職人の方の技術は本当にすばらしいと思いました。



最初につららげできない家の理由がわかり、とても面白かったです。鉋の体験をしたとき、とても難しく、これを職人さんがやっていると思うと、とてもすごいなと思いました。建物は職人さんたちのたくさんの思いがこめられていることが改めて感じられ、大切にしようと思いました。



青森 明の星中学校

実施日：令和5年10月6日（金）

講師：弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：1～3学年

時間：5～6校時

参加者：48名

教科：総合学習



本物体験を大切にしている本校としては、実体験でないと分からないこともあると考えていますので、生徒たちがとても前向きに取り組み興味関心を持っていた姿を見て、学習効果を感じています。（担当教諭）



大工さんや建築士さんの仕事がとても簡単ではないということが改めてわかりました。全く分からなかった大工さんの仕事を、少しでも知ることができてよかったです。ドリルなどの体験も出来てとても楽しかったです。今回学んだことを友達や家族の身近な人に伝えていきたいです。（1学年）

家は筋交いや断熱材など色々なものから守られていることがわかりました。筋交いがないと地震などがあつたときに家が崩れてしまったり、断熱材がないと暖かさと寒さのコントロールができなかったりすることがわかりました。

（3学年）



DVDを見て、数cmのズレも許されない仕事なんだなと思いました。また1つの家を作るのに、何十人もの人が力を合わせて作っている姿を見て、魅力がある仕事だと再確認しました。

（2学年）



弘前市立 第一中学校

実施日：令和5年10月11日（水）

講師：弘前高等技術専門校

県土整備部建築住宅課

学年：2学年

時間：2～4校時

参加者：27名

教科：総合学習



墨や鉋や鋸やドリルの体験をひとつひとつ丁寧に教えてくれて分かりやすかったです。木の加工のことで「まあいいか」で終わるのではなく、これでよしというまでやるということが勉強になりました。



話を聞いている時も作業している時もとても楽しかったです。今までは大工などの職人しか分からなかったけど、DVDなどでもっといろんな職人のことが分かったし、色んな職人が力を合わせて、家などの建物をつくっていることがよく分かりました。4つの体験をしましたけど、どれも思ったより難しかったので、またやってみたいです。

色々な道具や使い方が分かり、実演では鋸や鑿を使って2人で2種類の木の加工をし、ぴったり合わせることができていてすごかったです。大阪城の継ぎ手では、自分の考えとはまったく違う方に引っぱらないと取ることができないということに驚きました。



生徒たちはとても楽しく学べたようでした。話を聞く場面、DVDを見る場面、実演を見学したり、実際に木材加工を体験したりする場面があり、生徒たちは目的をもってメリハリをつけて取り組むことができていました。（担当教諭）

